



号外

昭和34年4月1日
第3種郵便物認可

定価1部2円

発行所

盛岡市内丸10番1号

岩手県内

岩手県職員労働組合

No.号外3

2018年

10月30日

環生部交渉で部として改善の向けた基本姿勢引き出す。引き続き各評協議会交渉でも前進回答求めよう！

2018評協議会秋闘③ 10.29保健所関係・環境生活企画室長交渉

薬剤師課題は『できること』から改善

人員確保 計画的採用と大学訪問等の改善を検討

処遇改善 賃金・奨学金等は東北各県の状況を見て検討

県職労保健所協議会は、薬剤師を対象とした意見交換を経て、人材確保と処遇改善等を柱とする、環境生活部長・保健福祉部長あて要請書を作成し、10月29日に高橋環境生活企画室長に手交のうえ、基本姿勢を質すべく交渉を行った（保健福祉部には10月23日保健福祉部交渉で手交済）。職場代表も参加し、実態を訴えた。



高橋室長（右）に要請書を手交（環保研・宮手さん）



基本姿勢を確認する交渉団

【交渉結果】薬剤師確保に関し、「職員募集を継続して行い、資格者数は微増」とし、引き続き確保に努めるとした。また、職員配置は、「盛岡など所管市町村が多い公所に複数人を配置し、経験の浅い職員には先輩職員も配置し、1人職場にはベテランの配置で調整」との姿勢を示した。交渉団から、環境分野に加え、地域医療等のニーズも高く、保健福祉

部への増員も必要と訴え、検討を要請した。新規採用者の確保（新卒者対策）では「岩手医大、東北薬科大訪問時に現役薬剤師を同行して業務のPRをした。他大学の訪問等は引き続き検討。奨学金創設等は東北各県の状況を見て判断」との姿勢であったことから、交渉団から奨学金を含めた一層の人材確保策を要請した。薬剤師の処遇改善は、「薬局等の民間状況が参考となるが、他の行政薬剤師との均衡も考慮が必要」とし、「東北各県の状況を見て人事課と協議」としたことから、先進県並みの改善を要請した。

高橋室長から、「薬剤師等は当部所管の広範囲の分野を担っており専門性確保は重要。できることから実現したいが、課題もある。現場の声を継続して聞いて実効性ある対応を考える」との姿勢を示した。県職労は継続して職場討論・要請書作成・交渉を進めていく（主な交渉結果は裏面）。



基本姿勢を示す高橋室長

1 薬剤師配置の基本姿勢

(県 職 労) 県庁健康国保課の体制強化に加え、各保健所配置の薬剤師も十分でない。配置を要請する。

(環生室長) 現在、定年退職がなくとも職員募集を継続して実施しており、資格者数は微増。引き続き確保に努める。

保健所の職員体制は、盛岡などの本局、所管市町村が多い所属には複数人の配属をし、新採用者などの経験が浅いところには先輩を配属。一人体制の時はベテランの配置をしている。薬剤師の人事配置は当部が所管しているが、保健福祉部とも連携して対応していく。

(県 職 労) 各保健所では薬務のほか、食品衛生などのほか地域医療の業務も担う。健康国保課をはじめ保健福祉部所管を含めて増員を検討していただきたい。



県南保健福祉部の寄書も手交

2 新卒等の薬剤師確保策

(県 職 労) 大学等への行政分野の薬剤師業務の一層の周知が必要。さらに、選考採用時の工夫、奨学金への支援措置などあらゆる手法で検討を。

(環生室長) 大幅な増員は定数上困難だが、継続的に行っていく。年齢にも偏りがないよう対応。受験者確保が課題であり、岩手医大・東北薬科大の説明時には現役薬剤師が同行し、魅力ややりがいをPRしている。他大学の訪問は引き続き検討。インターンシップもしており、参加者の中には行政薬剤師を志そうとする方もいる。選考採用拡大や奨学金は東北各県の状況を踏まえて検討。

(県 職 労) 若手の意見では行政薬剤師の一層のアピールが必要との意見があるほか、民間では薬局等での困り込みもある。奨学金の創設は喫緊の課題。一層の検討を。



回答する高橋環生室長

3 薬剤師の処遇改善

(県 職 労) 公務員薬剤師は民間に比して大幅に処遇が低い。改善を。

(環生室長) 薬局や医療機関等が参考となるが、一方で行政薬剤師間の均衡も考慮する必要。東北各県の状況を踏まえ、人事課と協議していく。

(県 職 労) 先進県並みの初任給改善を含め、人事課への要請をお願いする。



実態を訴える宮手さん

4 薬剤師の人材育成

(県 職 労) キャリア形成に向けた人材育成の充実を要請したい。基本姿勢は。

(環生室長) 複数人の配置、ジョブローテーション、技術発表会の確保などキャリアアップに努めている。技術確保のため外部研修への派遣も各所属に要請。OJTなども進める。人員配置も人材育成の観点から配置を進めていく。薬剤師としての人材プランは大事であり、他職種も参考に検討を進める。

(県 職 労) 行政薬剤師は、薬事のほか、公衆衛生などの幅広い分野を担う。薬剤師の教育方針を含め、行政薬剤師のスキルアップ策も一層の検討を要請する。

獣医師改善「食肉衛生体制拡充の人員確保のため、処遇改善を提案」

環境生活企画室長交渉時には、獣医師確保に向けた処遇改善の要請書も高橋環境生活企画室長に提出。基本姿勢を確認した。高橋室長は「新食肉処理施設への対応のため、相当数の獣医師の人員確保が必要」とし、「昨年度当部で給料の調整数を要求。人事委員会の報告を踏まえ、一層の処遇改善が必要であり、環境生活部としても人事課に提案していく」とし、総務部に一層の対応を求める姿勢を引き出した。